

平成30年度 実践的放射線治療人材育成セミナー Python講習会・初級編（物理士・技師向け）

主催：一般社団法人 広島県医師会、広島がん高精度放射線治療センター（以下HIPRAC）、
広島大学がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン、
広島大学〔世界最高水準の放射線治療チームの育成と地域及びアジア近隣諸国への展開〕

最新の放射線治療では、治療計画作成やIGRT（画像誘導放射線治療）など、画像データを取り扱うことが多くなっています。今回のセミナーを受講することで、画像データを取り扱うソフトウェアの作成方法を一から学ぶことができます。皆様奮ってご参加ください。

1.日時 平成30年7月14日（土） 9時50分 ～ 17時00分

2.場所 広島市東区二葉の里3丁目2-3
広島県医師会 3階 302会議室 ※詳細は裏面をご参照ください。

3.対象 医学物理士、広島県内外の放射線治療専門放射線技師、
放射線治療に携わる診療放射線技師、など

4.定員 40名程度 ※裏面の申込書を確認のうえ、期限までにFAX送信ください。
※定員になり次第、受付を終了しますので、予めご了承ください。

5.参加費 無料

6.プログラム

Python（パイソン）は、汎用のプログラミング言語で、コードがシンプルで扱いやすく設計されており、DICOM形式の放射線治療計画データ（DICOM RT）を簡単に扱うことができます。

本講習会は、プログラム言語Pythonを使い、リニアックの各種IGRT装置から出力されるDICOMファイル等の読み込み・解析・結果表示をするプログラムを独自に作成する実践型の講習会です。

時間	形態	タイトル	講師
9:50		開会の挨拶	HIPRAC 小澤医学物理士長
10:00	講義	本講習会の目的	
10:30	実習	《復習》Pythonの基本パッケージインストール実習	広島大学、HIPRACスタッフ
11:00	講義	Pythonとは？ -今までとこれから-	HIPRAC 中尾医学物理士
12:00		昼食	
13:00	実習	《NEW》Python追加パッケージインストール実習	HIPRAC 中尾医学物理士 広島大学、HIPRACスタッフ
14:00		DICOM表示 《NEW》CT画像表示・DVH解析プログラムの作成	
16:30		フリーディスカッション	
17:00		閉会の挨拶、修了証授与、記念撮影	HIPRAC 小澤医学物理士長

前回実施した内容を復習しながら進行しますので、昨年度参加された方は、より理解を深められ、初めての方も安心して受講していただけます。また、CT画像表示・DVH解析プログラムの作成等、日々の診療の現場でも活用できる実習プログラムが新たに学べる内容となっております。

7.取得単位

○医学物理士認定機構（JBMP）が認定した研修課程/講習会（認定コードG）2単位（出席）

8.注意事項

- 各自、Wi-Fiが利用できるPCをご持参ください。
※Wi-Fiアクセスポイント及びテーブルタップはこちらで準備します。
※講習時、Anaconda5.1.0（～4GB）をインストールします。ご了承ください。
- 昼食は各自で用意してください。
- 駐車場は有料（200円/30分：上限なし）です。
台数には限りがありますので、公共交通機関をご利用下さい。

python
を一緒に勉強
しましょう

